

## 授業展開例（国語）

1. 学 年 第1学年

2. 題材名 「考えを伝え合う」

「心のバリアフリー」 乙武洋匡 （学校図書 中学1年）

\* 転載不許可のため教材は載せていません。

3. 題材について

本教材は、障害者である筆者自身の体験を通して、社会の現状を生徒に考えさせる内容になっている。たとえば、環境の不備により障害者が生み出されていること、障害者を苦しめている物理的な壁を取り除くためには「心の壁」を取り除くことが何より大切だということ、障害者に対する心のバリアを取り除くためには障害をその人の個性として受け入れることなどを、具体例を出しながら分かりやすく説明している。

また、「乙武くんの海外レポート」という報道番組のビデオは、アメリカでは障害者が一人の人間として自立して生き生きと暮らしている現実を紹介している。

この2つの題材は、どのようにすればみんなが暮らしやすい環境になるのかということを考えてくれる教材である。

4. 題材の主たる目標

- ・ 筆者の生き方に学び、障害者の社会参加について考えようとする。
- ・ 自分の考えや気持ちを相手に理解してもらえるように話したり、話し手の意図を考えながら聞いたりする。
- ・ 筆者のものの見方や考え方を理解することを通して、自分のものの見方や考え方の視野を広げる。

**【普遍的視点】**

**自尊感情**

- ・ すべての人はたった一人しかいない、かけがえのない存在であることを理解させる。

**コミュニケーション能力**

- ・ 自分の考えを明確にして、論点を整理して話し合う力を育てる。

5. 題材の評価規準

関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
積極的にメモをとっている。 テーマに対する自分の考えを持っている。	みんなに分かりやすく自分の意見を発表できる。 自分と異なる意見を聞いて、自分の考えを広めたり、深めたりしている。	自分の考えを適切な語句を使い、分かりやすくまとめている。	課題を見付けながら読んでいる。 筆者の考えや文の要旨を正しくとらえている。	文を正しく音読している。 漢字、語句について理解を深め、適切に用いることができる。

6. 指導計画と評価規準（10時間）

	学 習 内 容	評 価 の 観 点					評 価 規 準	評 価 方 法
		関	話	書	読	言		
第 一 次  ( 四 時 間 )	「乙武くんの海外レポート」のビデオ鑑賞をし、自分のテーマをもつ。						積極的にメモをとっている。 テーマに対する自分の考えを持っている。  課題を見付けながら読んでいる。 漢字、語句について理解を深めている。	観 察 ， ノ ー ト
	本文の音読をし、自分なりの感想を持つ。							

	学 習 内 容	評 価 の 観 点						
		関	話	書	読	言	評 価 規 準	評 価 方 法
第二次 (四時間)	文章の構成を理解する。 筆者の考えや文章の要旨をとらえる。 意味段落に分けて、それぞれの段落の課題を見付ける。 1 靴と車椅子 2 「慣れ」が一番 3 自分らしく(本時)						筆者の考えや文の要旨を正しくとらえている。  文を正しく音読している。	ノート、 発表
第三次 (二時間)	「心の壁」を取り除くために自分たちはどのようにすればよいか、自分の意見をまとめて発表し、話し合う。						自分の考えを適切な語句を使い、分かりやすくまとめている。  みんなに分かりやすく自分の意見を発表できる。  自分と異なる意見を聞いて、自分の考えを広めたり、深めたりしている。	感想文、 ノート、 発表

## 7. 本時の展開

### (1) 本時の目標

「心のバリア」を取り除くためにどうすることが必要なのか、筆者の考えについてまとめる。

### (2) 観点別評価規準

話すこと・聞くこと	読むこと	言語事項
みんなに分かりやすく自分の意見を発表できる。	筆者の考えや文の要旨を正しくとらえている。	全体によく聞こえるように、文を正しく音読している。

### (3) 学習の展開

	学習内容	学習活動	指導者の支援・留意点	評価規準	評価方法
導 入	障害者に対する ・物理的な壁を取り除くには ・心の壁を取り除くには  本時の目標の確認	前時を想起する。 ・心のバリアを取り除くこと。 ・障害者に対して特別視しない状況になったとき、心のバリアフリーが実現される。	表現がいろいろされているので確認しておく。 ・心の壁=心のバリア これを取り除くことが「バリアフリー」	みんなに分かりやすく自分の意見を発表できる。	発表
<b>心のバリアを取り除くために、もうひとつ必要なことは何か</b>					
展 開	欧米と日本を比較	音読する。  欧米と日本を比較する。 本文中より筆者の考えを読み取り、自分の考えをまとめて発言する。	本時の目標を黒板に提示しておく。  どうして欧米は暮らしやすいのか。	全体によく聞こえるように、はっきりと読むことができる。  みんなに分かりやすく自分の意見を発表できる。	発表  ノート 発表

展 開	他人を認める心の原点とは	<p>* 欧米：障害 = 「特徴」として受け入れているのではないか。</p> <p>* 日本：「すべてが同じ」が原則で、はみ出した人が差別されたり、偏見をもって見られてはいないか。</p> <p>差別とは何か？ 偏見とは何か？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・足が不自由だとかで、「あの人は僕と違う」と決めつけること。</li> <li>・その人の特徴を変な目で見て、線引きして仲間に入れないこと。</li> </ul> <p>「いじめ」の原因 互いの違いを認めない。</p>		<p><b>他人を認める心が大切であることが分かる。</b></p>	発表
		<p><b>自分を大切にすること。「自分の役割」に気付く。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にしかできないことがある。</li> <li>・自分は世界でたった一人しかいないかけがえのない存在だということに気付き、自分を誇りに思うこと。</li> <li>・自分の存在が認められたら相手の存在も認められる。</li> </ul>		<p><b>自分を大切にすることが相手を大切にすることにつながることに気付く。</b></p>	発表
ま と め	<p>それぞれの意味段落の課題を整理する。</p> <p>次時の予告 総合的な学習の時間やこの学習をおして、わかったことをまとめて発表する。</p>	<p><b>すべての人は、世界でたった一人しかいない大切な存在だといくことを改めて確認する。</b></p> <p>ノートにまとめる。</p> <p>自分が学んだことをもとにして、感想文を書いてくる。</p>	<p>生徒の発表を中心に整理。</p> <p>障害者が暮らしやすい社会をつくっていくことは、だれもが住みやすい街づくりにつながるということを理解させる。</p> <p>自分の思いが書けるように作文用紙を渡ししておく。</p>	<p><b>みんなに分かりやすく自分の意見を発表できる。</b></p> <p>筆者の考えや文の要旨を正しくとらえている。</p>	<p>発表</p> <p>ノート</p>

## 8. 評価

- ・「心のバリア」を取り除くために、どうすることが必要なのかを考えることができたか。
- ・自分の立場を明確にして、意見を表明する方法について理解し、論点を整理して話し合う。

【コミュニケーション能力】